

# もくじ

■ 倫理（倫理 701）	
1 学習の到達目標 .....	2
2 科目の特色 .....	2
3 学習の計画 .....	3
4 評価の方法 .....	39
【参考】授業の進め方と学習に当たって	40

倫理	単位数	2 単位（70 時間）
	学科・学年・学級	〇〇科 第〇学年 〇組
使用教科書，副教材等	東京書籍「倫理」（倫理 701）， 「要点マスター倫理 整理と演習」（以上，東京書籍）	

## 1 学習の到達目標

- ① ≪「知識及び技能」に関わる目標≫ 古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにします。
- ② ≪「思考力，判断力，表現力等」に関わる目標≫ 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を養います。
- ③ ≪「学びに向かう力，人間性等」に関わる目標≫ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めます。

## 2 科目の特色

「倫理」は公民科の選択履修科目として設置されています。この科目は，公民科に新設された必修履修科目「公共」で学習したことを活用するとともに，古今東西の幅広い知的蓄積を通してより深く思索するための手掛かりとなる多様な視点（概念や理論など）を理解し，それらを活用して，現代の倫理的諸課題を広く深く探究する活動を通して，人間としての在り方生き方についての思索を深めていく選択科目です。このような科目の性格にもとづき，上記の科目の到達目標が達成できるよう，「倫理」は以下のように構成されています。

第1編「現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」では，第1章から第3章で，人間の存在や価値に関わる基本的な課題について，心理学の考え方，古今東西の先哲の思想，宗教や芸術の意義，さまざまな人生観・倫理観・世界観を学習します。第1編の第4章では，国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について，古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想を学習します。

その際，各章において，教科書掲載の図版やコラム，原典資料や，その他の資料の読み取りを行うことで，人間としての在り方生き方や日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けます。

また，第1編ではそれぞれの章ごとに学習のまとめとして，「思考と対話」の学習 or 時間を設けています。「思考と対話」では，学習の内容を手掛かりに倫理的な観点を明確にして，より広い視野から人間としての在り方生き方，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について，多面的・多角的に考察し，表現できるようにします。

第2編「現代の諸課題と倫理」では、第1編の学習を基盤として、現代の倫理的課題について探究学習を行います。この倫理的課題を、自然や科学技術に関する課題（生命、自然、科学技術）と、社会と文化に関する課題（福祉、文化と宗教、戦争と平和）として、六つの節でまとめていきます。各節において、主体的に問いを立て、その問いを他者と共有し、対等な探究者として共に思索を深めながら、多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述できるようにします。各節の最後の部分に設定した「探究課題」がその手引きになります。

これらの学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。このような趣旨を踏まえ、「倫理」は以下のように構成されています。

第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方			
第1章 人間の心のあり方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚
1節 人間とは何か 2節 人間の心の働き	1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想 3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術	1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念 6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり	1節 日本人の精神風土 2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化 7節 国際社会に生きる日本人の自覚



第2編 現代の諸課題と倫理					
1節 生命	2節 自然	3節 科学技術			
4節 福祉	5節 文化と宗教	6節 戦争と平和			

### 3 学習の計画

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
4 月	第1編 現代に 生きる自己の課 題と人間として の在り方生き方 第1章 人間の心 のあり方 1節 人間とは何 か	1 人間の特質	○人間の定義について 考えた上で、パスカ ルの言葉を手掛かり に「考えること」の意 義について考察しま す。	○「倫理」の学習の導入 として、さまざまな人 間の定義を整理して、 人間の特質について 多面的・多角的に考察 するとともに、「考え ること」の意義につい て、パスカルの原典資 料の読解やグループ での話し合いを通じ て考察を深めます。
		2 青年期の課題	○「公共」の学習内容 や、自己と他の青年 がおかれた現在の状 況をふまえ、人生に おける青年期の位置 づけや特徴、現代社 会におけるその特質 について考察しま す。	○「公共」の学習を振り 返りながら、青年期の 自己形成について考 え直し、現代社会で生 きていく上で、青年期 に求められることは 何か、具体的に幅広く 考え、話し合ったり意 見を發表したりしま す。
	2節 人間の心の 働き	1 認知	○知覚、学習、記憶、推 論、問題解決という、 人間の知的な活動の 特徴について理解す ることを通じて、他 者と共によりよく生 きる意思決定のあり 方について考察し、 豊かな自己形成に努 める意欲を高めま す。	○認知活動と知覚、学習 の法則、記憶のプロセ ス、推論と問題解決に ついて、心理学の基本 的な用語や考え方を 理解して、自分の日ご ろの行動や身近な生 活にあてはめて考察 し、共生のための意思 決定に必要なことを 考え、話し合ったり意 見を發表したりしま す。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 感情と個性	○感情の生起や動機づけに関する心理学の考え方を理解し、人間の個性について類型論と特性論を中心に理解することを通じて、他者と共によりよく生きることができるよう、自己や他者の個性について考察し、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	○感情の生起、感情と動機づけ、パーソナリティ、類型論と特性論について、心理学の基本的な用語や考え方を理解して、自分や周囲の人にあてはめて考察し、自己や他者の個性について理解を深めます。
		3 発達	○青年期までの発達と青年期以降の発達について、心理学の考え方を理解し、人間の心の発達がどのようにして他者との相互作用の中で育っていくのかについて考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	○青年期までの発達と青年期以降の発達について、心理学の基本的な用語や考え方を理解して、自分の過去や将来にあてはめて考察し、他者との関係を通じて人間の心がどのように発達するか、話し合ったり意見を発表したりします。
思考と対話	「心」をめぐる		○第1章の学習にもとづいて、自分自身の性格について理解し、人間の心の働きについて自分自身の性格の形成と関連づけて考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	○教科書の WORK①②③, TRY について、第1章の学習にもとづいて、多面的・多角的に考察し、その内容をまとめます。さらに、教科書の TRY の2点について、話し合ったり、まとめた内容を発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
5月・6月・7月・8月	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 I 1節 哲学すること	1 人間と哲学	○さまざまな人生観・倫理観・世界観の学習に先立って、「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて思索します。	○「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について、多面的・多角的に考察し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて思索を深め、哲学することに適した問いをつくって発表したりします。
9月	2節 ギリシャの思想	1 哲学の誕生と自然哲学	○ギリシャにおける哲学の誕生について、その歴史的背景をふまえて考察します。 ○真理や存在などに着目して、自然哲学の思想にみられる自然と人間との関わりや、世界を捉える知の在り方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○ギリシャにおける哲学の誕生について、地歴科の授業内容と関連づけながら、その歴史的背景とともに理解します。 ○自然哲学の思想にみられる自然と人間との関わりや、世界を捉える知の在り方について多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 ソクラテスとソフィスト	○徳, 真理, 正義, 義務, 幸福などに着目して, ソフィストの活動や思想の特徴, ソクラテスの生涯や思想について多面的・多角的に考察することを通じて, 自己の在り方生き方について思索します。	○ソフィストの活動や思想の特徴, ソクラテスの生涯や思想について多面的・多角的に考察して, 理解したことや考えたことをまとめたり, 発表したりします。
		3 プラトン	○真理, 存在, 善, 正義, 愛, 美, 徳, 義務などに着目して, プラトンのイデア論や哲人政治などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて, 自己の在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。	○プラトンのイデア論や哲人政治などの思想について, 現代の人間や社会にあてはめて具体的に考えるなど, 多面的・多角的に考察して, 理解したことや考えたことをまとめたり, 発表したりします。
		4 アリストテレス	○自然, 真理, 存在, 幸福, 徳, 善, 正義, 義務, 愛などに着目して, アリストテレスの自然観, 倫理思想, 社会観, 政治論などの思想について多面的・多角的に考察することを通じて, 自己の在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。	○アリストテレスの自然観, 倫理思想, 社会観, 政治論などの思想について, 現代の人間や社会にあてはめて具体的に考えるなど, 多面的・多角的に考察して, 理解したことや考えたことをまとめたり, 発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		5 ヘレニズム・ローマ時代の思想	○真理, 存在, 幸福, などに着目して, エピクロス派とストア派, 懐疑派と新プラトン主義の思想について多面的・多角的に考察することを通じて, 自己の在り方, 生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。	○エピクロス派とストア派, 懐疑派と新プラトン主義の思想について, 現代の人間や社会にあてはめて具体的に考えるなど, 多面的・多角的に考察して, 理解したことや考えたことをまとめたり, 発表したりします。
	3節 宗教と社会	1 集団的な現象としての宗教	○幸福, 愛, 徳, 善, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, 人生における宗教の意義や, 宗教が人間や社会に与えた影響について, 先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりにして多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方, 生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。	○人生における宗教の意義や, 宗教が人間や社会に与えた影響について, デュルケームなど先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりにして理解し, 教科書記載の資料及びその他の資料から, 必要な情報をしらべてまとめたり, 自分の考えを発表したりします。



	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	4 節 キリスト教	1 『旧約聖書』の倫理	○幸福、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教の成立に影響を与えた古代ユダヤ教の特徴や『旧約聖書』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○キリスト教の成立に影響を与えた古代ユダヤ教の特徴や『旧約聖書』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察して、ユダヤ教は、人間と神をどのような存在ととらえたのかなどについて、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
		2 イエスの教え	○幸福、愛、善、正義、義務、真理などに着目して、イエスの説いた神の特徴や愛の教えについて、ギリシャ思想における愛の思想と比較したりしながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○イエスの説いた神の特徴や愛の教えについて、ギリシャ思想における愛の思想と比較したりしながら多面的・多角的に考察して、イエスの教えは、人間と神をどのような存在ととらえたのかなどについて、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。 ○福音書などの著作や解説書などの文献資料や、関連する映像資料などを使用して、理解や思索を深めます。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		3 キリスト教の展開	○幸福，愛，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，キリスト教の成立と発展についての歴史的理解に基づいて，パウロの思想や教父哲学，スコラ哲学に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○パウロの思想や教父哲学，スコラ哲学に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察して，キリスト教の思想が，現在の社会の中でどのように受容されているかなどについて，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。
5 節	イスラーム	1 ムハンマドとイスラームの教え	○イスラームの誕生について，ムハンマドの生涯や歴史的背景をふまえて考察します。 ○幸福，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○イスラームの誕生について，地歴科の授業内容と関連づけながら，その歴史的背景とともに理解します。 ○『クルアーン』に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察して，ユダヤ教・キリスト教との共通点や相違点についてなど，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 イスラームの展開	<p>○イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について、歴史的背景をふまえて考察します。</p> <p>○幸福，善，正義，義務などに着目して，現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。</p>	<p>○イスラーム世界の拡大やイスラーム文化の展開について，地歴科の授業内容と関連づけながら，その歴史的背景とともに理解します。</p> <p>○現代におけるイスラームの在り方やムスリムの社会規範・生活規範について多面的・多角的に考察して，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。</p>
6 節 仏教		1 古代インドの思想	<p>○幸福，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，仏教の成立に影響を与えたバラモン教の特徴，ウパニシャッド哲学やジャイナ教に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。</p>	<p>○バラモン教の特徴，ウパニシャッド哲学やジャイナ教に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察して，現代の東洋における死生観・世界観への影響についてなど，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。</p>

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 ブッダの思想	○幸福，愛，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，ブッダの説いた苦の認識や縁起の法，慈悲の実践について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○ブッダの説いた苦の認識や縁起の法，慈悲の実践について多面的・多角的に考察して，人生における苦について四法印の教えを参考にしてどのように考えることができるかなど，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。
		3 仏教の展開	○部派仏教や大乘仏教の成立，仏教の伝播について，歴史的背景をふまえて考察します。 ○幸福，愛，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，部派仏教の特徴や，大乘仏教の特徴・諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○部派仏教や大乘仏教の成立，仏教の伝播について，地歴科の授業内容と関連づけながら，その歴史的背景とともに理解します。 ○部派仏教の特徴や，大乘仏教の特徴・諸思想について多面的・多角的に考察して，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	7 節 中国の思想	1 孔子と儒家の思想	<p>○諸子百家の代表的な思想について、歴史的背景をふまえて考察します。</p> <p>○幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理などに着目して、孔子の思想に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p>	<p>○諸子百家の代表的な思想について、地歴科や国語科の授業内容と関連づけながら、その歴史的背景とともに理解します。</p> <p>○孔子の思想に見られる人生観・倫理観・世界観について、現代の人間や社会にあてはめて具体的に考えるなど、多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。</p>
		2 儒教の展開	<p>○幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、孟子や荀子、韓非子、朱子学と陽明学の思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p>	<p>○孟子や荀子、韓非子、朱子学と陽明学の思想について、現代の人間や社会にあてはめて具体的に考えるなど、多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。</p>

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		3 老荘思想	○幸福，徳，善，正義，義務，真理，存在などに着目して，老子や荘子の思想や，道家の思想の特徴について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○老子や荘子の思想や，道家の思想について，現代の人間や社会にあてはめて具体的に考えるなど，多面的・多角的に考察したり，道家思想の特徴を儒家思想と比較して自分はどちらの立場に近いか考察したりして，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。
8節 芸術		1 美の発見と芸術の創造・鑑賞	○幸福，愛，徳，真理，存在などに着目して，美を求める心や，それが人生を豊かにするものであること，芸術とは何か，芸術作品と鑑賞者の関係について，芸術家の考え方や生き方，作品を手がかりにして多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○美を求める心や，それが人生を豊かにするものであること，芸術とは何か，芸術作品と鑑賞者の関係について，芸術家の考え方や生き方，作品を手がかりにして多面的・多角的に考察します。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 芸術と社会	○幸福，愛，徳，真理，存在などに着目して，芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて，多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて，多面的・多角的に考察します。 ○現代において，芸術はよりよい人生や社会の実現とどのように関わっているか，具体例をイメージしながらまとめたり，発表したりします。
	思考と対話	「幸福」をめぐって	○第2章の学習にもとづいて，幸福な人生のあり方について多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	○幸福な人生のあり方について，新たな問いを立てたり，第2章で学んだ思想やその他の思想・資料を調べたりして，理解や思索を深めます。
	思考と対話	「愛」をめぐって	○第2章の学習にもとづいて，愛とは何かについて多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	○愛とは何かについて，新たな問いを立てたり，自ら思想家を一人選んでその原典資料を調べたりして，理解や思索を深めます。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
9 月 ・ 1 0 月 ・ 1 1 月	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間尊重の精神	1 人間主体の時代	○西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて考察します。 ○幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、地歴科や国語科、理科の授業内容と関連づけながら、その歴史的背景とともに理解します。 ○ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について、その共通点や現代の社会や歴史に与えた影響について多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
	2節 近代思想の展開	1 新しい学問の方法	○幸福、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたベーコンとデカルトの思想について、両者の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○ベーコンとデカルトの思想について、両者の共通点と相違点や、現代の価値観に与えた影響について多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。



	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 経験論と合理論の対話	○真理、存在などに着目して、経験論と合理論の代表的な思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や世界の在り方について思索します。	○経験論と合理論の代表的な思想について理解し、自分が知っていることや普段の生活の中の出来事で、経験論や合理論で説明できることはないか、多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
		3 社会契約説	○幸福、善、自由、正義、義務などに着目して、現代の価値観に影響を与えた社会契約説や自然法思想、啓蒙主義に関する代表的な思想について、ホッブズ、ロック、ルソーの思想の共通点と相違点に留意しつつ多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索します。	○社会契約説や自然法思想、啓蒙主義に関する代表的な思想について、ホッブズ、ロック、ルソーの思想の共通点と相違点や、現代の社会や制度、価値観に与えた影響について多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	3 節 人格の尊厳と人倫の思想	1 カントー人格の尊厳	○幸福，愛，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，カントの批判哲学，認識論，道徳思想，人格の尊厳の思想，理想的な社会の構想について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○カントの批判哲学，認識論，道徳思想，人格の尊厳の思想，理想的な社会の構想について多面的・多角的に考察して，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。
		2 ヘーゲルー人倫の思想	○幸福，愛，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，ヘーゲルの弁証法，歴史観，自由と人倫の思想，社会や国家の考え方について，カントの自由や道徳に関する考え方と比較したりしながら多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○ヘーゲルの諸思想について，カントの自由や道徳に関する考え方との比較や，その進歩史観の問題点について多面的・多角的に考察して，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	4 節 社会変革の思想	1 功利主義と幸福	○幸福, 善, 自由, 正義, 義務などに着目して, アダム・スミス, ベンサム, J.S.ミルの倫理思想について, 現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方 生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。	○アダム・スミス, ベンサム, J.S.ミルの倫理思想について, 彼らの考える「幸福」について具体例をあげたり, 現代の社会生活と関連付けてその意義を話し合ったりしながら多面的・多角的に考察して, 理解したことや考えたことをまとめたり, 発表したりします。
		2 社会主義思想	○幸福, 善, 自由, 正義, 義務, 存在などに着目して, 現代の価値観に影響を与えた社会主義思想について, 現代の社会生活と関連付けながら多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方 生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。	○社会主義思想について, 「疎外された労働」に関する現代の具体例をあげたり, 現代の社会生活と関連付けて社会主義思想の意義を話し合ったりしながら多面的・多角的に考察して, 理解したことや考えたことをまとめたり, 発表したりします。

単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	3 社会の進歩と 実証的思想	○幸福, 善, 正義, 真理, 存在などに着目し て, 現代の価値観に 影響を与えた実証主 義や進化論の考え 方, プラグマティズ ムの思想について, 現代の社会生活と関 連付けながら多面 的・多角的に考察す ることを通じて, 人 間としての在り方生 き方や社会の在り 方, 世界の在り方 について思索します。	○実証主義や進化論, プ ラグマティズムの思 想について, 現代の社 会生活と関連付けて それらの思想の意義 を話し合ったりしな がら多面的・多角的に 考察して, 理解したこ とや考えたことをま とめたり, 発表したり します。
5 節 理性への 疑念	1 世界をとらえ る知のあり方の変 容	○幸福, 愛, 自由, 義務, 真理, 存在などに着 目して, キルケゴール, ニーチェ, フロイト の思想を手がかり に, 近代の人間観や 世界観がどのように 変容したかについて 多面的・多角的に考 察することを通じ て, 人間としての在 り方生き方や社会の 在り方, 世界の在り 方について思索しま す。	○キルケゴール, ニーチ ェ, フロイトの思想に ついて, それら以前の 西洋哲学とどのよう に異なるのかを話し 合ったりしながら多 面的・多角的に考察し て, 理解したことや考 えたことをまとめた り, 発表したりしま す。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	6節 人間観・言語観の問いなおし	1 存在への問い	○幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ハイデッガー、ヤスパース、サルトルの思想や、現象学、実存主義の考え方を手がかりに、従来の人間観や世界観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○ハイデッガー、ヤスパース、サルトルの思想や、現象学、実存主義の考え方について、それぞれの人間観や世界観の特徴を話し合ったりしながら多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
		2 新たな知の枠組み	○幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、ソシュール、レヴィ=ストロース、フーコーの思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○ソシュール、レヴィ=ストロース、フーコーの思想について、実存主義と構造主義の違いや、現代社会の身のまわりにある「人を規格化するもの」について話し合ったりしながら、多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		3 現代思想の展開	○幸福, 善, 自由, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, ドゥルーズ, デリダ, ポストモダンの思想を手がかりに, 従来の人間観や世界観, 言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。	○ドゥルーズ, デリダ, ポストモダンの思想について, 構造主義とその後思想がそれまでの西洋思想とどのような点で異なるかを考えたり, 自分が体験している管理社会や消費社会の特徴を話し合ったりしながら, 多面的・多角的に考察して, 理解したことや考えたことをまとめたり, 発表したりします。
	7節 他者・自然とのかかわり	1 他者と言語	○幸福, 愛, 善, 自由, 正義, 義務, 真理, 存在などに着目して, 他者とのかかわりや言語活動について, レヴィナス, ベンヤミン, アーレント, フランクフルト学派, ウィトゲンシュタインの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて, 人間としての在り方生き方や社会の在り方, 世界の在り方について思索します。	○「他者」とはどのような存在か, また, 私たちはどのように「他者」とかかわるべきか, という観点から, レヴィナス, ベンヤミン, アーレント, フランクフルト学派, ウィトゲンシュタインの思想について理解し比較しながら, 多面的・多角的に考察して, 理解したことや考えたことをまとめたり, 発表したりします。

単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	2 民主社会の成熟のために	○幸福，愛，善，自由，正義，義務などに着目して，民主社会の成熟や公共性の問題について，ロールズやセン，リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を手がかりに多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○ロールズやセン，リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を参考にして，「無知のヴェール」の状態から合意されるルールや，ケイパビリティを高めるために必要な支援などの問題について，多面的・多角的に考察して，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。
	3 社会参加と奉仕	○幸福，愛，善，自由，正義，義務などに着目して，マザー・テレサの活動やこれまで学習した社会参加の思想を手がかりに人間の相互依存性やボランティアの意義について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方について，自らの問題として思索します。	○マザー・テレサの活動やこれまで学習した社会参加の思想を手がかりに，自分の体験やキャリアプランについて多面的・多角的に考察して，人間の相互依存性やボランティアの意義について考えたことをまとめたり，発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		4 自然と人間とのかかわり	○幸福，愛，善，自由，正義，義務，真理，存在などに着目して，ゲーテ，シュヴァイツァー，ベルクソン，その他の人物や宗教の自然観を手がかりに，人間が自然をどのようにとらえ，どのように自然とかかわるべきか，多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○ゲーテ，シュヴァイツァー，ベルクソン，その他の人物や宗教の自然観を手がかりに，自分が自然をどのようにとらえているかや，人間が自然をどのようにとらえ，どのように自然とかかわるべきかについて多面的・多角的に考察して，考えたことをまとめたり，発表したりします。
思考と対話		「自由」をめぐって	○第3章の学習にもとづいて，「自由に生きること」について多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	○「自由に生きること」について，新たな問いを立てたり，自由について思索した思想家の原典資料を読んだりして，理解や思索を深めます。
思考と対話		「正義」をめぐって	○第2章や第3章の学習にもとづいて，「なぜ，正しく生きべきなのか」について多面的・多角的に考察することを通じて，豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	○「なぜ，正しく生きべきなのか」について，これまで学んだ思想やその他の思想・資料を活用したりして，理解や思索を深めます。



	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	思考と対話	「真理」をめぐる	○第2章や第3章の学習にもとづいて、「世界の始まり」や「真理」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	○「世界の始まり」や「真理」について、これまで学んだ思想やその他の思想・資料を活用したりして、理解や思索を深めます。
1 2 月 ・ 1 月 ・ 2 月	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ・ 1節 日本人の精神風土	1 日本人の自然観	○日本人の伝統的な自然観の特質について、「おのずから」の働きや、『古事記』・和辻哲郎の著作などの記述に着目しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方について思索します。	○日本人の自然観の特質について、伝統的な行事や日常なことば、作法の背後に見出せる自然観を話し合ったりしながら、多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
		2 日本人の宗教観	○日本人の伝統的な宗教観の特質について、八百万神や「神々の共存」、「重層的文化」などの考え方に着目しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○日本人の宗教観の特質について、伝統的な行事や日常なことば、作法の背後に見出せる宗教観を話し合ったり、さまざまな文化を重層的に共存させている具体例をあげたりしながら多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		3 日本人の倫理観	○日本人の伝統的な倫理観の特質について、清き明き心、正直、誠、いさぎよさ、やさしさなどの考え方に着目しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○日本人の倫理観の特質について、「清き明き心」や「やさし」という倫理的伝統が他者との関係においてあらわれる具体的な態度を話し合ったりしながら多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
	2 節 仏教と日本人の思想形成	1 仏教の受容	○日本の古代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、仏教の伝来と奈良仏教、平安仏教の展開、神仏習合の考え方を手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○日本の仏教受容について、仏教の伝来と奈良仏教、平安仏教の展開、神仏習合の考え方を理解しながら、外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、それらが日本人の思想形成に与えた影響について多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 仏教の日本的展開	○日本の中世史に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、浄土信仰、禅、『法華経』信仰を手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○仏教の日本的展開として、浄土信仰、禅、『法華経』信仰の考え方を理解しながら、外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、それらが日本人の思想形成に与えた影響について多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		3 仏教と日本文化	<p>○日本の伝統文化に関する基本的な理解にもとづき、日本人は外来思想である仏教をどのように理解し変容させたのか、また、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、無常観や美意識に着目して、さまざまな古典作品や芸道・文化、評論などを手がかりとして、古来の自然や神に対する信仰との共存・重層という観点から自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。</p>	<p>○仏教が日本文化に与えた影響について、無常観や美意識に着目して、さまざまな日本の文化・芸術の中から仏教的な考え方や感じ方のあらわれと考えられる事例や場面を探したりして、多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。</p>

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	3 節 儒教と日本人の思想形成	1 儒教の受容	○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本で独自に展開した儒教思想の特徴や、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、現実秩序の倫理や礼秩序の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、特に朱子学の現実秩序の倫理や礼秩序の思想の展開を理解しながら、近世の朱子学者が説く人間関係が現代社会のどのような場面でみられるか話し合ったりして多面的・多角的に考察して、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 儒教の日本的展開	○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本で独自に展開した儒教思想の特徴や、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、日本の陽明学や古学、古文辞学の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○儒教の日本的展開として、日本の陽明学や古学、古文辞学の思想を理解しながら、日本で独自に展開した儒教思想の特徴を中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較してみたり、日常生活の中で儒教のことばが使われている例を探してその現代的意義をあげてみたりして多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	4 節 国学の思想	1 国学の形成と展開	○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、国学が見出した人間像や、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら、自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○代表的な国学者の思想を理解しながら、国学が見出した古来の日本人の心情や、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
	5 節 庶民の思想	1 庶民の思想の広がり	○日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、町人や農民などの庶民が考えた諸思想について、代表的な思想家の考え方を手がかりとして、現代の国際社会に生きる自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○町人や農民などの庶民が考えた諸思想について、代表的な思想家の考え方を理解しながら、為政者でない庶民がどのようにみずからのあり方を肯定して生きたかを話し合ったりして多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 幕末の思想	○日本の近世史，幕末史に関する基本的な理解にもとづき，近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について，西洋文化との接触過程や日本の精神的基盤，代表的な思想家の考え方を手がかりとして，現代の国際社会に生きる自己との関わりにおいて多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○西洋文化との接触過程や日本の精神的基盤，代表的な思想家の考え方を理解しながら，近代精神の形成や倒幕に至った幕末の思想的背景について多面的・多角的に考察し，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。
6 節	西洋思想と日本人の近代化	1 近代化と啓蒙思想	○日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき，日本人の近代における思想形成に影響を与えた啓蒙思想や自由民権思想に着目して，国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて，人間としての在り方生き方や社会の在り方，世界の在り方について思索します。	○代表的な明六社の啓蒙思想家や自由民権思想家の考え方を理解しながら，同時代への影響や現代に通じる問題意識について多面的・多角的に考察し，理解したことや考えたことをまとめたり，発表したりします。



単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	2 キリスト教の受容	○日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、キリスト教を主体的に受容し広めた近代の人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○代表的な近代のキリスト者の考え方を理解しながら、同時代への影響や現代に通じる問題意識について多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
	3 社会思想の展開	○日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の国家意識や社会思想の形成に影響を与えた近代の人物の思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○日本人の国家意識や社会思想の形成に影響を与えた近代の人物の思想や在り方について理解しながら、同時代への影響や現代に通じる問題意識をあげたりして多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。

単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	4 近代的な自己の追求	○日本の近代史や文学史に関する基本的な理解にもとづき、近代的な自己の在り方について思索した近代の文学者などの思想や在り方に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○近代的な自己の在り方について思索した近代の文学者などの思想や在り方を理解しながら、同時代への影響や現代に通じる問題意識をあげたりして多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
	5 近代日本の創造的な思想	○日本の近代史に関する基本的な理解にもとづき、西洋思想を主体的に摂取しつつ東洋や日本の伝統的思想と対話させて独創的な新しい思想を形成した近代の人物の思想に着目して、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○西田幾多郎や和辻哲郎、民俗学者などの思想を理解しながら、彼らの思想が独創的といわれる理由や現代に通じる問題意識をあげたりして多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。 ○関連する思想家の著作や解説書を活用したり、公共や地理歴史、国語の授業をふり返ったりしながら、理解や思索を深めます。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
	7 節 国際社会 に生きる日本人 の自覚	1 戦後思想の動 向	○第二次世界大戦後の 日本の社会状況に関 する基本的な理解に もつぎ、第4章で学 んだ伝統的な日本人 の心情や考え方をふ り返ったり、日本の 戦後思想の動向を手 がかりにしたりしな がら、現代において 自覚的に受けつぐべ きものや、今後問い なおすべき課題につ いて、多面的・多角 的に考察することを 通じて、人間として の在り方生き方や社 会の在り方、世界の 在り方について思索 します。	○これまで学んだ伝 統的な日本人の心 情や考え方をふり 返り、また、日本 の戦後思想の動 向を理解しながら、 日本の思想伝統に 関し現代において 自覚的に受けつぐ べきものや、問い なおすべき課題 について多面的・ 多角的に考察し、 理解したことや考 えたことをまとめ たり、発表したり します。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		2 グローバル化と日本人	○世界の中で現在の日本が置かれているさまざまな状況をふまえて、これまでの学習を振り返りながら、高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索します。	○これまで学んだ日本の思想伝統を振り返りながら、グローバル化の進む今日、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点について、多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、発表したりします。
思考と対話		「日本人の心情」をめぐって	○第4章の学習にもとづいて、日本人の心情をめぐって、別れ際の心の構えや別れ言葉に着目して、「おのずから」や「死」について多面的・多角的に考察することを通じて、豊かな自己形成に努める意欲を高めます。	○「おのずから」や「死」について、これまで学んだ思想家の考え方をまとめたり、その他の思想・資料を調べたりして、理解や思索を深めます。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
2 月 ・ 3 月	第2編 現代の 諸課題と倫理	1節 生命	○第1編で学習した事項を基盤に、生命科学や医療技術の発達を踏まえ、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などを通して、「生きることの意義」について思索できるようにします。	○今日の生命倫理や医療の問題について理解を深め、生命の誕生、老いや病、生と死の問題などについて多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、話し合っ発表したりします。
		2節 自然	○第1編で学習した事項を基盤に、人間の生命が自然の生態系の中で、植物や他の動物との相互依存関係において維持されており、調和的な共存関係が大切であることについて思索できるようにします。	○今日の環境倫理や環境問題について理解を深め、環境問題の解決に向けて、自分と自分に身近な社会ができることや、経済的な自由主義と政府などによる規制との関係について多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、話し合っ発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		3節 科学技術	○第1編で学習した事項を基盤に、近年の飛躍的な情報技術の進展を踏まえ、AIをはじめとした先端科学技術の利用と人間生活や社会の在り方について思索できるようにします。	○今日の情報技術やインターネット社会、AIの活用とそれらの問題について理解を深め、情報技術の高度化による日常生活や社会の変化、そこに見られる倫理的問題、AI活用における倫理指針などについて多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、話し合っ発表したりします。
		4節 福祉	○第1編で学習した事項を基盤に、多様性を前提として、協働、ケア、共生の視点から、だれにとっても住みやすい社会について思索できるようにします。	○今日の家族とケア、ケアの倫理、SDGs、ダイバーシティとインクルージョンについて理解を深め、ケア労働の担い手やだれにとっても生きやすい社会の実現などについて多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、話し合っ発表したりします。

	単元名	学習項目	学習のねらい	主な学習活動
		5節 文化と宗教	○第1編で学習した事項を基盤に、文化や宗教が過去を継承する人類の知的遺産であることを踏まえ、それらを尊重し、異なる文化や宗教をもつ人々を理解し、共生に向けて思索できるようにします。	○文化の概念や、グローバル社会における宗教の問題、多文化主義について理解を深め、異なる文化の接触による新たな文化の創造や、異質な価値をもつ人々の共生社会などについて多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、話し合ったり発表したりします。
		6節 戦争と平和	○第1編で学習した事項を基盤に、人類全体の福祉の向上という視点から、平和な世界の実現について、考察、構想できるようにします。	○今日の戦争、紛争、テロの問題や、消費社会、貧困と格差の問題について理解を深め、戦争等が起きる背景や、人類全体の福祉という観点から私たちが目指すべき「豊かさ」について多面的・多角的に考察し、理解したことや考えたことをまとめたり、話し合ったり発表したりします。

#### 4 評価の方法

##### (1) 評価の結果を生かす

評価は自分自身の学習の過程や成果を確認するためになされるものです。このことをしっかり確認し、不十分な点があればその後の学習の改善につなげるようにしましょう。そのためにも、返却されたテストやワークシート、レポート、自己評価などの見直しを徹底しましょう。

##### (2) 評価の観点

評価にあたっては、学習で身に付ける力を次の三つの観点から把握します。

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代の倫理的課題を捉え、他者と共によりよく生きる人間のあり方について自己の確立の課題として考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。</li> <li>○諸資料から、現代に生きる倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者と共によりよく生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理的課題などについて多面的・多角的に考察し、思索を深めている。</li> <li>○良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしている。</li> <li>○理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており、人格形成や自己形成の確立に努める実践的意欲を持っている。</li> <li>○現代の倫理的課題についての探究的な態度を身に付け、他者と共によりよく生きる在り方を主体的に探究しようとしている。</li> <li>○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強い取り組みを行おうとしている。また、そのような取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。</li> </ul>

### (3) 評価の時期と方法

ア 各学期の定期考査では、出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考力・判断力・表現力を評価します。

イ 教科書の各節の「まとめ」や「思考と対話」の **WORK, TRY**、第2編の各節の「探究課題」についてのレポートやワークシートを、評価のための資料とします。レポート作成の際には、教科書の「第2編 『倫理』における探究」などを参考にしてください。

ウ 学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とします。

エ 自己評価や振り返りシートを参考とします。

### (4) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断して行います。

## 【参考】授業の進め方と学習に当たって

### (1) 授業の進め方

ア 他者と共によりよく生きる人間のあり方について、さまざまな理論や視点、人生観・倫理観・世界観の理解を図ります。

イ 一斉授業、グループ学習、発表などの学習活動を行い、ものごとを多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養います。



ウ 資料から適切な情報を選択し，課題を追究する活動，レポートにまとめたり発表したりする活動などを行い，課題追究の方法を身に付けます。

(2) 学習に当たって

ア 日常生活で気になった人間関係や言動，自分自身に関する事柄について，そのまま放っておかずに，その原因や理由，背景，影響などについて考え，同様のことを考えた人物や関連する思想，理論等を調べる姿勢を持つこと。

イ 日頃からメディアで報道される時事的な課題に関心を持ち，調べたり論点を見いだしたりすることに努めること。

ウ 客観的な複数の資料に基づいて，諸課題を多面的・多角的に考察し，解決のあり方を模索する態度を身に付けること。